

# Point

J R 東海 大阪修繕車両所分会分会情報

No. 62 2010. 08. 17.

発行責任者 坂東 貞男

編集責任者 教 宣 部

## ✓ チェックするのが難しいチェックシートとは! ?

今年1月29日の補助吊架線切断事故の原因であったパンタグラフの舟体外れに関して会社は事故原因を一方的に作業者のヒューマンエラーと決めつけ、対外的に発表したため、ボルトの員数管理ができていなかったことや作業のチェックシートすらなかったことでマスコミ等の社外から会社の安全姿勢に非難が集中しました。

そのため会社は、事故から半年経ってようやく多種類のチェックシートを現場に配備してきました。会社は、チェックシートの現場配備に先立って修繕車両所社員に説明会を行い、出来るだけ多くの修繕作業について準備し、ヒューマンエラーをなくすためにチェックシートの記入を色分けするなどして、これまで以上に活用して完璧な修繕作業を目指していくと説明がありました。ところが、説明会においても受講者から例に使ったチェックシートに問題があり、チェックするのが難しく、疑問・質問が多く出されました。

そのためなのか？説明会の最初の頃に7月23日からの実施と説明がありましたが、いつの間にか7月23日以降準備出来次第に変わりました。

## チェックシートを記入するために作業! ?

実施時期が遅れたことで、再度チェックシートをチェックして、より良いチェックシートが配備されるものと思われましたが、期待は大外れで現場に配備されたチェックシートには間違いはあるし、チェック方法が分かり難い、チェックを記入しにくい、などの問題が続出しており、現実の現場ではチェックシート記入に四苦八苦しているような状態です。

これでは、新幹線電車の安全安定輸送のために、ヒューマンエラーゼロを目指すためのチェックシートというより、チェックシートを記入するために作業するという本末転倒になりかねず、現場社員に煩雑さを強制するだけのものと言えません。

会社は、作業をチェックシートで確実にチェックすれば安全は守れると思っているのでしょうか？物事には落とし穴が結構あり、例えばボルト穴に異物(ゴミ等)でも入っていたらトルク管理してもボルトが確実に締結されない場合もあり得ます。これではチェックシートで確認しても作業としては不完全なものとなります。

このように実際に作業している社員でなければ分からないこともあります。だからこそ現場で働く社員の意見をチェックシートに反映させていくべきであり、柔軟にチェックシートの改訂を行うべきだと思います

そのために私たち大阪修繕車両所分会は、新幹線関西地本に会社との協議により、改善するための解明要求を上申しました。

【ウラ面に申し入れを掲載】

2010年08月16日

J R 東海 労新幹線関西地方本部  
執行委員長 小林 國博 殿

J R 東海 労大阪修繕車両所分会  
分会長 坂東 貞男

### 修繕作業におけるチェックシートについて

1月29日、J48における補助吊架線切断事故について、会社は事故原因を一方的に作業者のヒューマンエラーと決めつけ、対外的に発表したため、ボルトの員数管理ができていなかったことや作業のチェックシートすらなかったことでマスコミ等の社外から会社の安全姿勢に非難が集中した。そのために会社はチェックシートや員数管理の徹底を実施するため事故直後から汎用のもので対処していたが、今回多種類のチェックシートや締結部品管理表を作成して現場に配布してきました。

しかし、安全対策のはずのチェックシートが間違っていたり、記入方法がわかりずらかったり、記入しにくかったりなど様々な問題が現場で発生しており、安全に関することなので早急に改善するように会社と協議されたい。

### 記

1. 今回、多種類のチェックシートを現場に配布してきたが、会社のチェックシートに対する考え方を明らかにされたい。
2. 会社は、作業をチェックシートで確認すれば安全を確実に確保できると考えているのか明らかにされたい。
3. チェックシートは、統一性が感じられないが、全社共通のものということでよいのか。
4. 今回、現場に配布してきた多種類のチェックシートには、間違いや記入法がわかりずらい・記入しづらいなどの問題が現場で働く社員の声としてあるが、どのように対処（訂正・改良）するのか明らかにされたい。
  - ・チェックシートごとに記入例の見本を用意されたい。
5. これまでもそうだがチェックシートや作業分担表などには、同一氏名の複数記入など簡略化しても問題ないと思われる箇所は現場社員の意見を聞いて改善されたい。
6. 今回配布された締結部品管理表は全く締結部品を持ち出さなくても「使っていない確認」として「レ点」だけ記入して提出することになっているが、全く無駄なのでやめられたい。
7. 分割準備のチェックシートは、あくまで作業準備であり取付等をする訳でないので必要ないと思うので止められたい。
8. チェックシートで作業の確認を確実にするという事だと思うが、修繕作業はありとあらゆる作業が発生するので全ての作業にチェックシートがあるとは限らないので、チェックシートのない場合は、汎用シートでチェックシートを作成することになるが、チェックシートを作成してから作業すると大幅に作業が遅れる可能性があるがそれでよいのか。
9. チェックシートが増えた関係で、明らかに作業時間が延びている。運用に穴が空くからと言って臨修作業を次々とさせることを強要することはやめられたい。

以上